PRESS RELEASE

報道機関各位

【取材依頼】　産学協働・防災教育・社会貢献

プレスリリース

2026 年 11 月 27 日

ECC国際外語専門学校
ECC KOKUSAI COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES

知りたいから、訪れた。好きになったから、伝えたい！

福島のおいしい！うれしい！が大集合

「ふくしまマルシェ」を 12 月 6 日（日）に開催

日時：2026 年 12 月 6 日（日）10：00 ～ 18：00

場所：ディアモール大阪・ディーズスクエア 大阪市北区梅田 1 丁目 大阪駅前ダイヤモンド地下街内





学校法人山口学園 ECC 国際外語専門学校（大阪市北区　学校長：大谷内圭）の選択教科「つなぐ福島」受講生が、福島で出会い、自ら選んだ逸品を紹介・販売する「ふくしまマルシェ」を開催します。**新米、直送野菜**、「フルーツ王国・福島」を代表するりんご、福島銘菓、金賞受賞蔵の日本酒の他、福島県から米・花卉・日本酒の生産者を招き、商品の背景にあるストーリーや復興への想いを直接聞きながら買い物を楽しむことができる、交流型のイベントです。さらに、当日は、株式会社ラジオ福島の人気番組「Radio de Show」による公開生放送（13:00～15:00）を実施。会場から福島の魅力やイベントの様子を発信します。

今年度「つなぐ福島」を受講している学生は、13 名。東日本大震災発生時、3 歳でした。学生たちのほとんどが、震災の記憶はほぼない、と言います。しかし、前年度、本教科を受講した学生の「日本人として、日本で起きた災害について話せないことは、恥ずかしい」との言葉に強く共感し、受講を決意。実際に福島を訪れ、震災遺構や復興の現場を見学し、地域の方々との交流を重ねる中で、学生たちの思いは変化していきました。豊かな自然、おいしい食べ物、受け継がれる民芸品を好きになり、そして困難を乗り越えながら未来へ歩み続ける福島県の姿に触れる中で、学生たちは福島への理解を深め、今ではその魅力を自ら発信したいと考えるようになりました。

今回の「ふくしまマルシェ」では、学生たちが選定した商品の販売、また、実際に福島県から招いた生産者の皆さんとお話をしながらお買い物いただけます。震災の記憶と福島の今をつなぎ、福島と来場者をつなぎ、そして次世代へと思いをつなぐ交流の場となれば幸いです。学生たちが好きになった福島の魅力を、ぜひ会場で感じてください。

イベント名：**福島銘産品市「ふくしまマルシェ」**
主催：学校法人山口学園 ECC 国際外語専門学校「つなぐ福島」受講生
目的：東日本大震災と原発事故からの復興支援と風評風化対策・福島県の魅力発信
出店者：福島県大阪事務所（日本酒、おつまみの販売）／会津・Bond & Co.(日本酒・お菓子の販売)／川俣町・観光農園スマイルファーム（アンスリウム・米・クッキーの販売）／福島市観光コンベンション協会（産地直送野菜の販売）**株式会社ラジオ福島（「Radio de Show」2 時間公開生放送 13：00～15:00）**／ECC 国際外語専門学校「つなぐ福島」（福島県産品の販売：りんご、野菜、銘菓等）


↑「つなぐ福島」受講生
国際エアラインコース・木梨泉実

熊本県出身の私は、小学生のときに地震を経験しました。しかし、当時は子どもだったこともあり、自分にできることは何もありませんでした。ECC 国際外語専門学校に進学し「つなぐ福島」の活動を知ったとき、東日本大震災についても、福島県についても、実はほとんど知らない自分に気づきました。「同じ被災を経験した立場だからこそ、何かできることがあるかもしれない。」そう思い、この活動に参加しました。実際に福島を訪れて驚いたのは、私が経験した地震の際に、福島から被災地支援のために駆けつけてくださった方々にお会いしたことです。福島の人たちは、自らも大きな被害を経験しているからこそ、困っている人に手を差し伸べる優しさと、逆境に立ち向かう強さを持っていると私の夢は、客室乗務員になることです。海外からのお客様に日本の魅力を伝えるためにも、福島の歴史や東日本大震災についてしっかり理解し、この地で出会った人々の想いや復興への歩みを自分の言葉で伝えられる人材になりたいと考えています。そして、魅力あふれる福島県、そして日本の素晴らしさを国内外へ発信していきたいです。

◇主催団体・「つなぐ福島」とは◇

学校法人山口学園 ECC 国際外語専門学校の選択科目「つなぐ福島」を受講する学生の団体で、東日本大震災により、未曾有の複合災害に見舞われた福島県について学び、風評被害や震災の記憶の風化への対策、および、福島県の現状を知り、学生それぞれの専門分野や視点から、研究・発信します。在籍コースを問わず受講が可能で、現在 13 名が受講中。受講生は、実際に福島県に赴き体感した、福島県の魅力を SNS や地域イベントで、情報発信しています。インスタグラム：@tsunagu_fukushima

＊本校は、2024 年 9 月、関西地方での福島県の情報発信を継続的に実施するために、福島県と連携協定を締結し、選択教科「つなぐ福島」を新設・開講しました。
・この事業は、内閣府の交付金を活用した福島県の支援制度「令和 8 年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の採択を受け実施しています。
・「ふるさと・きずな維持・再生支援事業」は、NPO 法人や学校法人等によるきめ細かな原子力災害からの復興・被災者支援の取組を支援することを目的としています。